



大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express



VOL.49

2017年9月

目次	P
三円卓会議合同事業	1
しみんのちから登録団体紹介	1
第13回市民活動団体交流会ほか	2
陶器山のナラ枯れ対策ほか	3
第14回市民活動団体交流会ほか	4
さやまラウンド第1回講演会ほか	5
情報ステーション	6

三円卓会議が合同で「さやま池ハロウィン」10月29日開催



市制30周年の祝賀イベントとして開催することになった「狭山池ハロウィン」。この合同事業実行委員会の大西圭介委員長にお聞きしました。

今回の行事は、これまで各校区で別々に活動してきた3つの円卓会議が協力して一つの行事に取り組むという新しい試みです。祝賀行事・イベントとしてどんなことが出来るか、ふさわしいかを様々に検討する中でハロウィンに取り組むことに意見集約されました。経済効果がバレンタインを上回ったことや時期的に相当だということもあります。

イベントとしては、気軽に、手軽で、誰もが安心して参加できること、主催者も参加者も多世代と一緒に参加出来ることを目指しました。企画を煮詰め・練り上げるの

に想定以上の時間がかかり、周知期間や実際の準備期間が窮屈になったことは反省点です。ただ、この過程を丁寧に進められたことでメンバー間の気持ちの交流が深まったことは今後につながる大きな成果になるものです。

市立中学校3校とえて市吹奏楽団も参加が決まり、7つの市立小学校全校の子どもにも呼び掛けています。市になって30回目の誕生日、市を挙げてお祝いしたい、市役所関係者が300人参加してもらえば、3,000人超えなど軽く実現できると思っています。



「しみんのちから」登録団体NO.311「さくらジュニアバンド」



大阪狭山市に誕生した小中学生の金管バンドです。ハートフルコンサートやスーパープラスに出演したり、ふれあいの里のイベントや狭山池まつりに出演したりしています。毎年4月にはSAYAKAホールで定期演奏会をしています。「ともに音楽をつ

くろう!」「ともに感動しよう!」を合言葉に、プロの奏者の指導のもと、単に演奏技術向上だけでなく団員の健全な心身、生涯音楽を愛する豊かな心の育成を大切に活動しています。ご興味ある方は主に土・日曜日12:30~17:00社会教育センターで練習をしていますので見学においでください。また大阪狭山市内の行事にお誘いいただき、アピールする場を与えていただければ幸いです。

問合せ：津田 (090-1899-1712) 18~21時、sakura_j_b@yahoo.co.jp

陶器山の自然



チョウトンボ

情報提供
あまの街道と
陶器山の自然を守る会

第13回市民活動団体交流会



6月23日（金）に市役所南館2階講堂で第13回市民活動団体交流会を開催しました。

今回は、まちづくり関連の活動として、市制30周年記念事業として市内にある三つの円卓会議が合同で取り組む事業、さやか観光会の歴史探訪ガイドウォーク、NPO法人南中円卓会議と三中円卓会議が協力して取り組む三津屋川清掃活動の再開などの事業について経過報告がありました。その後、事業別に分かれて活動内容について質疑応答・情報共有をして、今後協力できる点などを話し合いました。さらに、日ごろの団体活動の成果や困っていること、抱えている課題などを話し合い意見交流しました。

詳しい内容は、市民活動支援センターのホームページに掲載しています。

脱出アドベンチャーゲーム「ASOBOSAI part2」

子どもたちに防災体験をさせる脱出ゲームプログラムが、7月17日（祝）市立公民館の主催で昨年に続き開かれました。

このプログラムは、市立公民館講座「おとなの寺子屋」を修了したメンバーが中心になり、企画・運営したもので、日ごろはそれぞれの活動をしているメンバーが個人参加でサポートすることで成立しました。参加したのは、小学3年生から6年生の男女で総数48人、24組でした。

プログラムは、4つの国を回り、それぞれの国で異なる防災の内容を体験するものです。「火の国」では消火器の使い方、「水の国」では水を運ぶリレー、「風の国」ではAEDの使用方法、「山の国」では担架を作りケガをした人の搬送。各国を回って「なぞ」を解くことで賞品の防災グッズがもらえました。



「水辺で乾杯」ミズベリングプロジェクト



「池の駅プロジェクト」の呼びかけで、昨年に続き今年も7月7日（金）午後7時7分に狭山池の鳥居付近の水辺で乾杯しました。

これは、国交省の主導する「ミズベリング・プロジェクト」の行事で、今年も全国163か所で開かれました。

「ミズベリング・プロジェクト」というのは、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していく取り組みで、「水辺+RING（輪）」「水辺+R（リノベーション）+ING（進行形）」の造語です。

当日、狭山池には114人と5匹が集まり、それぞれ好みの飲み物を持参して乾杯しました。夕刻からは晴れ間も出て、輝く月の下での乾杯となりました。会場では九州北部豪雨災害の義援金も募っていました。

陶器山のナラ枯れ対策（あまの街道と陶器山の自然を守る会）



本紙VOL.47で「古いバスタオルの寄付を募ります」との記事を掲載しましたが、当初の予想を上回るご協力があり、バスタオル回収BOXには連日のように提供があり、激励のメモも多くありました。

その後、大阪狭山・堺両市や各団体の協力も得て、ほぼ2000本のコナラに対策を施すことが出来ました。

作業面では「守る会」の女性たちと応援者の連日にわたる奮闘が光りました。

今回の対策の成果の検証は今後のこととなりますが、来年秋に予定しているバスタオルの撤去作業など、今後も人手が必要になります。これまでのご支援とご協力に感謝するとともに、今後の作業にも一層のご協力をお願いします。

「かがく実験で未来のノーベルががく賞」公民館で開催

4年前から始まった小学4年生～中学生を対象とした講座で、会場を市立公民館に移して2回目の開催となりました。この講座は、大阪府立大の先生がたの協力で開いているものです。

8月4日（金）午前は「電池4兄弟」のテーマで津久井先生（工学研究科）が太陽電池や二次電池、燃料電池、熱発電電池などの説明があり、体の熱で発電する熱発電素子を利用した装置を工作し発電実験をしました。続いて、午後は「海中ロボットで見守る海の健康」のテーマで有馬先生（工学研究科）がシャチの話をし、ミニ水中グライダーを作りました。5日（土）の午前は成澤先生（工学研究科）の「顕微鏡で見るミクロの世界」では顕微鏡を実際に使用して粉体の姿や繊維や印刷物の状態を観察しました。午後からは野口先生（理学系研究科）による「リニアの世界、超電導・磁石の不思議」の話で、「右ねじの法則」「モータの原理」などを学び液体窒素を利用して磁気浮上の実験に取り組みました。

大阪狭山市からノーベル賞の受賞者を送り出したいという先生がたの熱意の伝わる講座でした。



第19回講習会「心と身体楽しく動かしましょう」



狭山中学校区まちづくり円卓会議が、8月19日（土）午後、市役所南館2階講堂で、池島栄治郎さん（NPO法人みんなのスポーツ協会事務局長）を講師に体験型の講習会を開きました。

30名の定員を上回る総勢44名が参加し、椅子に座ったままでもできる体の動かし方や脳トレにつながる複合動作の体験など90分の時間いっぱい体を動かしました。

参加者の内訳は校区内の人61%、校区外は36%、市外の人3%になります。

平均寿命と健康寿命の差が少なくなることが理想です。できるだけ寝たきり状態にならないためにも運動を続けることが有効だと感じました。

第14回 市民活動団体交流会「環境編」

と き：9月23日（祝）午後2時～4時まで
（開場1時30分）

と ころ：市役所南館 2階 講堂

「ボランティア活動をやってみたい！」
今回の交流会は、環境分野で活躍している団体を
中心に開きます。
実際に地域で活動している団体から、活動の現状と今
年の計画についてお話しいただきます。

◎話題提供の団体は下記の2団体です。

- 狭山の副池自然づくりの会
副池の自然回復とオアシス公園としての整備
- 大阪狭山市ごみ減量対策推進会議
ゴミ処理の現状と対策

各団体のグループに移動いただき活動について、質疑
応答し、協力しあえないかなどについて話し、交流

してさせていただきます。

◎申込方法/問合せ：
市民活動支援センターVIC
電子メール：vic@osakasayama-vc.jp



しみんのちから登録団体 チラシ大賞 作品募集

市民活動支援センターでは、チラシ大賞の作品を募集
します。

登録団体全体の広報力の向上に寄与することを目的に
します。

皆さんの心のもった作品をお待ちしています。

- 応募対象：当センター「しみんのちから登録団体」
または登録申請中の団体

●応募内容

- (1) 実際に使用したオリジナルチラシ一面
- (2) 応募作品は1点
(団体名が明記されているもの)
- (3) 2017年1月以降に作成した作品

●サイズ A4限定

●応募方法：応募用紙と作品を来館または郵送にて
尚、応募作品は返却できませんのでご注意ください。

●応募締切：2018年1月31日必着

●審査日：2018年2月審査作品は
当支援センターからご連絡します)

●審査員 帝塚山学院大学情報メディア科、
市民活動支援センタースタッフ

●発表・表彰

2018年3月中旬（団体交流会にて表彰）

- (1) グランプリ（1作品）賞状・記念品
- (2) 準グランプリ（1作品）賞状・記念品
- (3) 特別賞 賞状・記念品

●審査基準

- 1.わかりやすさ
 - ・誰が見てもわかりやすく共感できるか
 - ・伝える目的がはっきりしているか
 - 2.レイアウト・文字
 - ・見やすく、読みやすいものになっているか
 - 3.インパクト
 - ・具体的なイメージがわくか
 - ・記憶に残るか
 - 4.オリジナリティ
 - ・団体活動の特徴や個性が感じられるか
 - ・楽しさ、面白さが感じられるか
- 展示
- ・応募作品についても当支援センターのHPや館内
掲示を行います。

しみんのちから登録団体

チラシ大賞

作品募集

大阪狭山市市民活動支援センターでは、登録団体が作成し、エントリーされた「チラシ」の中から、広報ツールとしてすぐれたものを選び、「チラシ大賞」として表彰します。この事業は、表彰制度を通じて、登録団体全体の広報力の向上に寄与することを目的とします。みなさんの心のもった作品をお待ちしています。

応募締切 2018年 1月31日(水) 必着

狭山中校区円卓会議 講演会のご案内

第1回福祉教育部会講演会「子ども心の読み取り術」

子どもたちの成長を見守る中で、いろいろな気付きがあります。その中で、保育される方や保護者が対応できる事がたくさんあります。セーフティネットの一つとして、皆さんと一緒に何ができるかを考えましょう。子どもたちの成長を見守るスキルとして、仕草や癖に現れる心のサインの読み取り方を学びます。

- とき：平成29年9月7日（木）午後1時30分～3時（開場は30分前）
- ところ：SAYAKAホール 大会議室
- 定員：65名（先着順）
- 参加費：無料（事前予約が必要）



講師：上島医院 院長
渥美正彦さん

第20回講演会の案内「くすりの正しい使い方」



講師：柚本アヤ子さん
元立命館大学薬学部講師

薬は身近なもので、私たちは気楽にお薬を飲みます。医療機関から出される薬もさまざまあります。毎日何種類も飲んでいられる方もいます。

薬に助けられて日々快適に過ごせていても、こんなに飲み続けていいのか、飲み合わせは大丈夫かなど、この講座では副作用、飲み合わせなど薬の正しい付き合い方を身につけていただきます。

- とき：11月18日（土）午後2時～3時30分（開場は30分前）
- ところ：SAYAKAホール 2階 大会議室
- 定員：90名 先着順
- 参加費：無料（事前予約が必要）

- 申込方法：HPまたはE-mailまたFAX、往復ハガキでも可です。
申込講座内容、お名前（ふりがな）電話、住所郵便番号、メール、年齢（年代でも可）、参加人数など記載の上、狭山中校区まちづくり円卓会議事務局まで。

●連絡先

〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5
大阪狭山市市民活動支援センター1F
狭山中校区まちづくり円卓会議事務局まで FAX：072-366-8545
E-mail:sayamaround@sayamachuentaku.net
HP:http://www.sayamachuentaku.net/

さやか観光会から9月の月例会

「さやま荘施設案内 & さやか三二歴史講座 & 茶話会」

今回初めての、三団体のコラボ企画です。

- 漢の料理クラブが「和菓子」作りをします。
 - さやま荘 茶道クラブが「抹茶手前」をします。
 - さやか観光会が「十二代、北条氏」三二歴史講座をします。
- 「ゆったりとした寛ぎの刻（とき）」をお楽しみ頂こうと少人数募集としました。

日時：9月14日（木）午後1時～3時頃まで

集合場所：さつき荘前

募集人数：32名

参加費：300円（資料、抹茶、和菓子代含む） 連絡・問合せ：谷上（090-9719-2121）





ボランティアしたい人
ボランティアを求めている人は当センター
まで

情報ステーション



しみのちから登録団体の方へ

「しみのちから」Web版は、より多くの団体のみなさまに利用していただけるように改善を重ねつつあります。今回、登録内容の一部を変更して、今まで以上に利用しやすいものにするため、登録団体のみなさまには以下の変更手続きの案内を差し上げています。

- ①ご承認いただいた場合のみ、登録されている「団体住所」および「団体代表者名」と「連絡担当者名」をWeb上に掲載します。
- ②「しみのちから」に掲載した記事、写真の変更を受け付けています。各団体にお送りした掲載記事等をご確認ください。

デジタルの原稿用紙をご希望の場合、その他のお問い合わせは下記までご連絡ください。

また、現在「しみのちから」未登録で、この機会に登録を希望される団体のみみなさまのご連絡もお待ちしております。

大阪狭山市市民活動支援センターVIC
電話：072-360-1011
E-mail: vic@osakasayamasc.onmicrosoft.com



支援センターで ミニワークショップを開催します

「ハロウィーンクラフト生け花！」

ミニカボチャを使ったミニ生け花のクラフトです。10月ハロウィーンの楽しさが増します。

- 9月22日（金）午後2時～3時30分まで
- 参加費：300円
- 問合せ：当センターまで（☎072-366-4664）



みなさんの活動・情報をこの 紙面で紹介しませんか

携帯電話での投稿は右QRコードでメールアドレスが登録できます。市民活動支援センターまで情報の提供をお願いします。



編集後記

前号から編集に関わるようになった新米スタッフです。数年前までフルタイムで働いていましたが、退職後少しは地元のことも知りたいし、なにか少しでも役に立ちたいと思って、「まちづくり大学」を受講したのが、ボランティアのきっかけになりました。このニュースレターがお手元に届くころには、今年の「まちづくり大学」も始まっていることでしょう。今年も、少しでも地元を知って、少しでも役に立ちたいと思って受講する方々がいるだろうと思うと、「一緒に、ちょっとだけ狭山のためにやってみよう」と声をかけたくくなります。支援センターに関わるようになって、多くの魅力的な方々にお会いし、エネルギーに活動するボランティア団体が多くあることを知りました。素敵ぢなあとする反面、私自身は「なまけもの」で、たいしたことはできません。でも、「なまけもの」は「なまけもの」でいいかなとも思っています。それぞれのペースで、大きな負担にならない範囲で、楽しく、ちょっとだけ地域のためになる…そんな活動をする人が増えれば、その分地域は確実に住みやすくなっていくはずですから。(N)

大阪狭山市市民活動支援センター News Letter Express

発行責任者：氏川 誠
〒589-0005 大阪狭山市 1-862-5
☎・Fax：072-366-4664
E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp
HP:http://osakasayama-sc.jp/
VIC・E-mail：vic@osakasayama-vc.jp

